

——天昇電気の2020年3月期第1四半期決算——

売上高は前年比24・0%増

営業利益13・4%増、経常利益は11・0%減

天昇電気工業(本社・東京都町田市南町田5-1-35、☎042-788-1555、石川忠彦社長)は、このほど2020年3月期第1四半期(2019年4月1日～同年6月30日)連結決算をまとめた。

それによると、売上高は前年同期比24・0%増の44億4,300万円、営業利益は同13・4%増の2億4,600万円、経常利益は同11・0%減の2億900万円となった。

同第1四半期における我が国経済は、政府の経済政策などにより企業収益や雇用情勢の改善が続き、個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られるなど景気は緩やかな回復基調にあるものの、米中貿易摩擦は長期化しており、中国経済の減速による日本経済への影響等もあらわれ始め景気の先行きは不透明な状況が続いている。

このような状況下、天昇電気グループは引き続き売上拡大に向け営業強化を図るとともに工程改善や生産効率の向上及び原価低減に取り組んできた。これにより

売上高は前年同期比24%の増加となり、損益面では、徹底した原価低減を継続していることにより、営業利益は同13・4%増、経常利益は営業外費用に為替差損を計上したこと等により同11%減、親会社株主に帰属する四半期純利益は同41・0%増の1億3,700万円となった。

なお、2018年6月29日に行われた天昇アメリカコーポレーションとの企業結合について、前連結会計年度末において企業結合に係る暫定的な会計処理の確り、1億6,300万円(同

0・1%減)となった。
【中国成形関連事業】
中国国内では、物流産業資材及び機構品部品の販売拡大に努めた結果、売上高は7,500万円(前年同期比49・1%増)、セグメント利益は原価低減、販売管理費の削減等を推進した

市の賃貸建物及び二本松市所在の土地から構成されており、売上高は7,500万円(前年同期比0・0%増)、セグメント利益は5,600万円(同4・8%減)となった。

通期の業績予想

2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の連結業績については、2019年5月17日に公表した業績予想に修正なく次の通り。

売上高178億円(前年同期比1・0%増)▽営業利益10億円(同5・4%増)▽経常利益9億6,000万円(同1・7%減)▽親会社株主に帰属する当期純利益6億3,000万円(同6・9%増)。